

**高等教育機関の情報セキュリティ対策のためのサンプル規程集
(2010年版)**

用語集

2011年3月31日

国立情報学研究所 学術情報ネットワーク運営・連携本部
高等教育機関における情報セキュリティポリシー推進部会

用語集

	用語	説明
あ	IPv6 移行機構	物理的にひとつのネットワークにおいて、IPv4 技術を利用する通信と IPv6 を利用する通信の両方を共存させることを可能とする技術の総称である。例えば、電子計算機や通信回線装置が2つの通信プロトコルを併用するデュアルスタック機構や、相互接続性のない2つの IPv6 ネットワークを既設の IPv4 ネットワークを使って通信可能とする IPv6-IPv4 トンネル機構等がある。
	アカウント	主体認証を行う必要があると認めた情報システムにおいて、主体に付与された正当な権限をいう。また、狭義には、利用者等に付与されたユーザ ID(識別コード)とパスワード(主体認証情報)の組み合わせ、又はそれらのいずれかを指して「アカウント」という。
	アクセス制御	主体によるアクセスを許可する客体を制限することをいう。
	アプリケーション	オペレーティングシステム上で動作し、サービスの提供、文書作成又は電子メールの送受信等の特定の目的のために動作するソフトウェアをいう。
	アルゴリズム	ある特定の目的を達成するための演算手順をいう。
	暗号化	第三者に容易に解読されないよう、定められた演算を施しデータを変換することをいう。
	暗号モジュール	暗号化及び電子署名の付与に使用するアルゴリズムを実装したハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア及びそれらの組合せをいう。
い	安全区域	電子計算機及び情報ネットワーク機器を設置した事務室、研究室、教室又はサーバールーム等の内部であって、利用者等以外の者の侵入や自然災害の発生等を原因とする情報セキュリティの侵害に対して、施設及び環境面から対策が講じられている区域をいう。
	委託先	情報システムに関する計画、構築、運用等の情報処理業務の一部又は全部を請け負った者をいう。
	インシデント	情報セキュリティに関し、意図的または偶発的に生じる、本学規程または法律に反する事故あるいは事件をいう。
う	ウェブクライアント	ウェブページを閲覧するためのアプリケーション(いわゆるブラウザ)及び付加的な機能を追加するためのアプリケーションをいう。
	ウェブサーバ	HTTP サーバアプリケーション、当該サーバアプリケーションで動作するウェブアプリケーション及びデータベース並びに負荷分散装置等のようにウェブサーバと一体として動作するハードウェアをいう。
え	受渡業者	安全区域内で職務に従事する事務従事者との物品の受渡しを目的とした者をいう。物品の受渡しとしては、宅配便の集配、事務用品の納入等が考えられる。
	ST 確認	評価機関による ST 評価の評価結果が妥当であることを認証機関(独立行政法人情報処理推進機構)が検証し、確認することをいう。
	ST 評価	セキュリティ設計仕様書(ST:Security Target)がITセキュリティ評価基準(ISO/IEC 15408)に適合していることを IT セキュリティ評価方法 CEM(Common Methodology for Information Technology Security Evaluation)に則って、ST の評価を行うことが可能な機関が評価することをいう。
	MRA	Mail Retrieval Agent の略称であり、メールボックスに格納された電子メールを、POP3、IMAP 等で MUA へ渡すソフトウェアをいう。いわゆる POP3サーバ、IMAP サーバ等。
	MSA	Mail Submission Agent の略称であり、MUA から SMTP で電子メールを受信し、当該電子メールを MTA に渡す処理を行うソフトウェアをいう。MTA の機能に含むとする考え方もある。
MTA	Mail Transfer Agent の略称であり、他のサーバから SMTP で受信した電子メール、又は MSA から渡された電子メールを、必要に応じて、SMTP で他のサーバへ転送したり、ローカルのメールボックスに格納するソフトウェアへ渡したりする処理を行うソフトウェアをいう。いわゆる SMTP サーバ等。	

	用語	説明
	MUA	Mail User Agent の略称であり、電子メールの読み書き、MSA 経由での電子メールの送信、MRA 経由での電子メールの受信、送受信した電子メールの管理を行うソフトウェアをいう。いわゆるメール等。
	エラーメール	あて先のメールアドレスが存在しない場合等に、送信元のメールアドレス又は MTA の管理者用メールアドレスあてに送信不能を伝えるために、MTA によって自動的に送られる電子メールをいう。
か	外部委託	情報システムに関する計画、構築、運用等の情報処理業務の一部又は全部を教職員等以外の者に請け負わせることをいう。
	学外	本学が管理する組織又は施設の外をいう。
	学外クレーム	学内の利用者等による情報発信行為(本学の業務としてなされたものを除く)の問題を指摘しての連絡・通報及び学外(学内の者が、弁護士等の代理人を立てる場合も含む)からの発信中止を求める要求、損害賠償の請求、謝罪広告の請求、発信者情報の開示請求等の民事的請求及び証拠、証言の収集や犯罪捜査等にかかわる協力要請や強制的命令をいう。
	学外通信回線	物理的な通信回線を構成する回線(有線又は無線、現実又は仮想及び府省庁管理又は他組織管理)及び通信回線装置を問わず、本学が管理していない電子計算機が接続され、当該電子計算機間の通信に利用する論理的な通信回線をいう。
	学外での情報処理	本学の管理部外で大学事務の遂行のための情報処理を行うことをいう。なお、オンラインで学外から本学の情報システムに接続して、情報処置を行う場合だけではなく、オフラインで行う場合も含むものとする。
	学外窓口	インシデントについて学外から連絡・通報を受け、学外への連絡・通報、対外クレームをするための窓口をいう。
	学生等	本学通則に定める学部学生、大学院学生、研究生、研究員、研修員並びに研究者等、その他、部局総括責任者が認めた者をいう。
	学内	本学が管理する組織又は施設の内をいう。
	学内通信回線	物理的な通信回線を構成する回線(有線又は無線、現実又は仮想及び本学管理又は他組織管理)及び通信回線装置を問わず、本学が管理する電子計算機を接続し、当該電子計算機間の通信に利用する論理的な通信回線をいう。
	可用性	情報へのアクセスを認められた者が、必要時に中断することなく、情報及び関連資産にアクセスできる状態を確保することをいう。
	可用性1情報	可用性2情報以外の情報(書面を除く。)をいう。
	可用性2情報	本学で取り扱う情報(書面を除く。)のうち、その滅失、紛失又は当該情報が利用不可能であることにより、利用者等の権利が侵害され又は本学の活動の安定的な遂行に支障(軽微なものを除く。)を及ぼすおそれがある情報をいう。
	完全性	情報が破壊、改ざん又は消去されていない状態を確保することをいう。
	完全性1情報	完全性2情報以外の情報(書面を除く。)をいう。
完全性2情報	本学で取り扱う情報(書面を除く。)のうち、改ざん、誤びゅう又は破損により、利用者等の権利が侵害され又は本学の活動の適確な遂行に支障(軽微なものを除く。)を及ぼすおそれがある情報をいう。	
き	機器等	情報機器等及びソフトウェアをいう。
	機密性	情報に関して、アクセスを認められた者だけがこれにアクセスできる状態を確保することをいう。
	機密性1情報	機密性2情報又は機密性3情報以外の情報をいう。
	機密性3情報	本学で取り扱う情報のうち、秘密文書に相当する機密性を要する情報をいう。

	用語	説明
	機密性2情報	本学で取り扱う情報のうち、秘密文書に相当する機密性は要しないが、漏えいにより、利用者等の権利が侵害され又は本学の活動の遂行に支障を及ぼすおそれがある情報をいう。
	教職員等	本学を設置する法人の役員及び、本学に勤務する常勤又は非常勤の教職員(派遣職員を含む)その他、部局総括責任者が認めた者をいう。
	強制アクセス制御 (MAC: Mandatory Access Control)	主体が客体(情報、ファイル等)に設定したアクセス制御について、その設定の継承を情報システムが強制的に行う方式をいう。強制アクセス制御の機能を備えた情報システムでは、主体が客体を保護すべき対象とした場合には、アクセスを許可された者であっても、それを保護すべき対象ではないものとするとはできない。すなわち、主体が設定したアクセス制御の継承は、任意ではなく強制されることになる。
	業務継続計画	中央省庁業務継続ガイドライン第1版(平成19年6月、内閣府)に基づき府省庁において策定するBCP(Business Continuity Plan: 事業継続計画)をいう。
	共用識別コード	複数の主体が共用することを想定した識別コードをいう。原則として、1つの識別コードは1つの主体のみに対して付与されるものであるが、情報システム上の制約や、利用状況などを考慮して、1つの識別コードを複数の主体で共用する場合もある。このように共用される識別コードを共用識別コードという。
	記録媒体	情報が記録され、又は記載されるものをいう。なお、記録媒体には、書面、書類その他文字、図形等人の知覚によって認識することができる情報が記載された紙その他の有体物(以下「書面」という。)と、電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるもの(以下「電磁的記録」という。)に係る記録媒体(以下「電磁的記録媒体」という。)がある。また、電磁的記録媒体には、電子計算機や通信回線装置に内蔵される内蔵電磁的記録媒体と外付けハードディスク、CD-R、DVD、MO、USBメモリ、フラッシュメモリ等の外部電磁的記録媒体がある。
	緊急連絡網	運用・管理規程に基づき整備された[インシデント/障害等]に備え、特に重要と認めた情報システムについて、その部局技術責任者及び部局技術担当者の緊急連絡先、連絡手段、連絡内容を含む連絡網を言う。
く	クロスサイトスクリプティング	クロスサイトスクリプティングとは、入力データの正当性検査の甘いウェブサイトの利用者を狙った攻撃で、データ入力の際に悪意のあるサイトを経由すると、そこでスクリプトと呼ぶプログラムが入力データに挿入される。挿入されたスクリプトは、入力データをチェックしていないサーバで利用者入力データとともにブラウザに送り返される。スクリプトはブラウザの画面には表示されないが、スクリプト実行を制限していないブラウザでは解釈実行されてしまい、重要な情報が盗み取られたりする。 (IPAセキュリティセンターによる解説) http://www.ipa.go.jp/security/awareness/vendor/programming/a01_02.html
け	権限管理	主体認証に係る情報(識別コード及び主体認証情報を含む。)及びアクセス制御における許可情報を管理することをいう。
こ	公開されたセキュリティホール	誰もが知り得る状態に置かれているセキュリティホールのことであり、ソフトウェアやハードウェアの製造・提供元等から公表されたセキュリティホール、セキュリティ関連機関から公表されたセキュリティホールが該当する。
	交換用電子メールサーバ	他のドメインと電子メールを交換(送受信)するための電子メールサーバであり、DNS情報において交換用であることが明示されている電子メールサーバであり、MTAが動作しているものをいう。いわゆるMXサーバ。

	用語	説明
	コンテンツインシデント	<p>ネットワークを利用した情報発信内容(以下「コンテンツ」という)が著作権侵害等の他人の権利侵害や児童ポルノ画像の公開等の違法行為または公序良俗違反である行為(及びその旨主張する被害者等からの請求)による事故を言い、下記原因を含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 電子掲示板、ブログやウェブページ等での名誉・信用毀損にあたる情報の発信 - 他人の個人情報や肖像の無断公開や漏えいその他プライバシーを侵害する情報の発信 - 通信の秘密を侵害する行為 - 他人の著作物の違法コピーのアップロード等、他人の著作権等の知的財産権を侵害する情報の発信 - 秘密であるデータやプログラムの不正公開等守秘義務に違反する情報の発信 - 児童ポルノやわいせつ画像の公開 - ネットワークを利用したねずみ講 - 差別、侮辱、ハラスメントにあたる情報の発信 - 営業ないし商業を目的とした本学情報システムの利用行為
さ	サーバ装置	通信回線等を経由して接続してきた電子計算機に対して、自らが保持しているサービスを提供する電子計算機をいう。
	サービス	サーバ装置上で動作しているアプリケーションにより、接続してきた電子計算機に対して提供される単独又は複数の機能で構成される機能群をいう。
	サービス不能攻撃	セキュリティホールを悪用しサーバ装置若しくは通信回線装置のソフトウェアを動作不能にさせること、又はサーバ装置、通信回線装置若しくは通信回線の容量を上回る大量のアクセスを意図的に行い通常の利用者のサービス利用を妨害する攻撃をいう。
	最少(最小)特権機能	管理者権限を実行できる範囲を管理作業に必要な最少の範囲に制限する機能をいう。
し	識別	情報システムにアクセスする主体を特定することをいう。
	識別コード	主体を識別するために、情報システムが認識するコード(符号)をいう。代表的な識別コードとして、ユーザID が挙げられる。
	事業継続計画	BCP 参照
	実施規程	ポリシーに基づいて策定される規程及び、基準、計画をいう。
	事務情報	<p>事務情報とは情報のうち次のものをいう。</p> <p>(1) 「法人文書の管理に関する規程」の対象となる法人文書</p> <p>(2) (1)以外の法人文書で、部局長が指定した文書</p>
	事務情報システム	事務情報を扱う情報システムをいう。
	重要な設計書	情報システムに関する設計書のうち、当該情報システムの適切な管理に必要なものであり、その紛失、漏えい等により、大学事務の遂行に支障を及ぼすものをいう。
	主体	情報システムにアクセスする者や、他の情報システム及び装置等をいう。主体は、主として、人である場合を想定しているが、複数の情報システムや装置が連動して動作する場合には、情報システムにアクセスする主体として、他の情報システムや装置も含めるものとする。
	主体認証	識別コードを提示した主体が、その識別コードを付与された主体、すなわち正当な主体であるか否かを検証することをいう。識別コードとともに正しい方法で主体認証情報が提示された場合に主体認証ができたものとして、情報システムはそれらを提示した主体を正当な主体として認識する。なお、「認証」という用語は、公的又は第三者が証明するという意味を持つが、本統一基準における「主体認証」については、公的又は第三者による証明に限るものではない。
	主体認証情報	主体認証をするために、主体が情報システムに提示する情報をいう。代表的な主体認証情報として、パスワード等がある。

	用語	説明
	主体認証情報格納装置	主体認証情報を格納した装置であり、正当な主体に所有又は保持させる装置をいう。所有による主体認証では、これを所有していることで、情報システムはその主体を正当な主体として認識する。代表的な主体認証情報格納装置として、磁気ストライプカードやICカード等がある。
	情報	情報には次のものを含む。 (1) 情報システム内部に記録された情報 (2) 情報システム外部の電磁的記録媒体に記録された情報 (3) 情報システムに関係がある書面に記載された情報
	情報資産	情報システム並びに情報システム内部に記録された情報、情報システム外部の電磁的記録媒体に記録された情報及び情報システムに関係がある書面に記載された情報をいう。
	情報システム	情報処理及び情報ネットワークに係わるシステムで、次のものをいい、本学情報ネットワークに接続する機器を含む。 (1) 本学により、所有又は管理されているもの (2) 本学との契約あるいは他の協定に従って提供されるもの
	情報セキュリティ	情報資産の機密性、完全性及び可用性を維持することをいう。
	情報セキュリティ関係規程	情報システム運用基本方針及び同方針に定められた内容に基づき定めた規程、基準、実施手順をいう。
	情報ネットワーク機器	情報ネットワークの接続のために設置され、電子計算機により情報ネットワーク上を送受信される情報の制御を行うための装置(ファイアウォール、ルータ、ハブ、情報コンセント又は無線ネットワークアクセスポイントを含む。)をいう。
	情報の移送	学外に、電磁的に記録された情報を送信すること並びに情報を記録した電磁的記録媒体及び書面を運搬することをいう。
せ	セキュリティインシデント	ネットワークや情報システムの稼働を妨害し、またはデータの改ざんや消失を起こす行為及び利用行為の形態自体には問題は無いが、ネットワークの帯域やディスクやCPUの資源を浪費するなど、ネットワークやシステムの機能不全や障害または他の利用者の迷惑となる行為による情報セキュリティの確保が困難な事由の発生およびそのおそれを言い、下記原因によるものを含む。 - 大量のスパムメールの送信 - コンピュータウイルスの蔓延や意図的な頒布 - 不正アクセス禁止法に定められた特定電子計算機のアクセス制御を免れる行為 - サービス不能攻撃その他部局総括責任者の要請に基づかずに管理権限のない情報システムのセキュリティ上の脆弱性を検知する行為 - 利用規定により禁止されている形態でのP2Pソフトウェアの利用 - 禁止された方法による学外接続 - 学内ネットワークへの侵入を許すようなアカウントを格納したPCの盗難・紛失
	セキュリティホール	オペレーティングシステム又はアプリケーション等に存在し、それら自身や処理する情報のセキュリティが侵害される原因となる可能性のある問題をいう。
	全学アカウント	本学の全学統一認証に対応した情報システムの利用に当たって用いるアカウントをいう。これに加え、本学が契約し外部委託したシステムおよびサービス利用のためのアカウントも含むものとする。
そ	送受信用電子メールサーバ	電子メールを利用している利用者等のメールボックスが存在し、当該利用者等がMUAを利用して電子メールを送受信するために接続するための電子メールサーバであり、MTA、MSA、MRAが動作しているものをいう。
	ソフトウェア	電子計算機を動作させる手順及び命令を電子計算機が理解できる形式で記述したものをいう。オペレーティングシステム、オペレーティングシステム上で動作するアプリケーションを含む広義の意味である。

	用語	説明
た	対外クレーム	対内的インシデントに対し、学外の発信者に対して連絡・通報し、または発信中止を求める要求、損害賠償の請求、謝罪広告の請求、発信者情報の開示請求等の民事的請求及び当局に犯罪捜査の告訴・告発をすることを言う。
	対外的インシデント	インシデントのうち、利用者等による行為であって、外部ネットワークにおけるあるいは外部のシステムに対して行われた行為による事故、事件を言う。
	耐タンパー性	暗号処理や署名処理を行うソフトウェアやハードウェアに対する外部からの解読攻撃に対する耐性をいう。
	対内的インシデント	インシデントのうち、外部のネットワークから内部に向かって行われた行為による事故、事件を言う。
	端末	利用者等が直接操作を行う電子計算機(オペレーティングシステム及び接続される周辺機器を含む。)であり、いわゆる PC のほか、PDA 等も該当する。
つ	通信回線	これを利用して複数の電子計算機を接続し、所定の通信様式に従って情報を送受信するための仕組みをいう。回線及び通信回線装置の接続により構成された通信回線のことを物理的な通信回線といい、物理的な通信回線上に構成され、電子計算機間で所定の通信様式に従って情報を送受信可能な通信回線のことを論理的な通信回線という。
	通信回線装置	回線の接続のために設置され、電子計算機により回線上を送受信される情報の制御を行うための装置をいう。いわゆるリピータハブ、スイッチングハブ及びルータのほか、ファイアウォール等も該当する。
て	DNS サーバ	名前解決のサービスを提供するアプリケーション及びそのアプリケーションを動作させる電子計算機をいう。DNS サーバは、その機能によって、自らが管理するドメイン名等についての名前解決を提供する「コンテンツサーバ」とクライアントからの要求に応じて名前解決を代行する「キャッシュサーバ」の二種類に分けることができる。
	手順	実施規程に基づいて策定される具体的な手順やマニュアル、ガイドラインを指す。
	デュアルロック	行為に対して、少なくとも2名の者が操作しなければその行為を完遂できない方式のことをいう。
	電子計算機	コンピュータ全般のことを指し、オペレーティングシステム及び接続される周辺機器を含むサーバ装置及び端末をいう。
	電子署名	情報の正当性を保証するための電子的な署名情報をいう。
	電磁的記録	電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、コンピュータによる情報処理の用に供されるものをいう。
	電子メールクライアント	電子メールサーバにアクセスし、電子メールの送受信を行うアプリケーションをいう。
	電子メールサーバ	電子メールの利用者に対する電子メールの送受信のサービス及び電子メールの配送を行うアプリケーション並びにそのアプリケーションを動作させる電子計算機をいう。
	電子メールサービス提供ソフトウェア	電子メールの送受信のためにサーバ装置上で動作する MTA、MSA、MRA であって、部局技術担当者によって運用管理が行われているものをいう。
と	ドメインネームシステム(DNS)	ドメイン名やホスト名と IP アドレスとの対応関係を管理するデータベースシステムである。
	ドメイン名	サーバ装置や通信回線装置に付与した IP アドレスを、扱いやすいように英数字および一部の記号を用いて表したものをいう。たとえば、sample.ac.jp のこと。
	取扱制限	情報の取扱いに関する制限であって、複製禁止、持出禁止、再配付禁止、暗号化必須、読後廃棄その他情報の適正な取扱いを確実にするための手段をいう。
な	名前解決	ドメイン名やホスト名と IP アドレスを変換することをいう。

	用語	説明
は	パッチ	発見された問題点を解決するために提供される修正用のファイルをいう。提供元によって、パッチ、ホットフィクス、サービスパック等名称が異なる。
ひ	BCP(Business Continuity Plan: 事業継続計画)	組織において特定する事業の継続に支障を来すと想定される自然災害、人的災害・事故、機器の障害等の事態に組織が適切に対応し目標とする事業継続性の確保を図るために当該組織において策定する、事態の予防及び事態発生後の事業の維持並びに復旧に係る計画をいう。狭義には、このうちの事態発生後の事業の維持を主とした計画をいう。
	非常事態	本学情報システムの運用に関するインシデントのうち特に緊急性を要するものをいう。
ふ	フィッシング(phishing)	たとえばオークションサイトと類似の画面を持ったなりすましサイトに利用者を誘導しIDやパスワードを盗み出すような行為である。ニセのサイトには、電子メール等でHTMLメールのリンクから誘導する。
	VPN(Virtual Private Network)	暗号技術等を利用し、インターネットなどの公衆回線を私設通信回線として広域化するための技術をいう。
	複数要素(複合)主体認証	知識、所有、生体情報などのうち、複数の方法の組合せにより主体認証を行う方法である。
	不正プログラム	コンピュータウイルス、スパイウェア等の電子計算機を利用する者が意図しない結果を電子計算機にもたらすソフトウェアの総称をいう。
	不正プログラム定義ファイル	アンチウイルスソフトウェア等が不正プログラムを判別するために利用するデータをいう。
	物理的インシデント	地震等の天災、火災、事故、盗難等によるネットワークを構成する機器や回線の物理的損壊や滅失及びその他の物理的原因による情報システムやネットワークの機能不全や障害等、情報セキュリティの確保が困難な事由の発生およびそのおそれを言う。
	踏み台	第三者によって不正アクセスや迷惑メール配信の中継地点に利用されている情報システムのことをいう。
ほ	ポリシー	本学が定める「A1000 情報システム運用基本方針」及び「A1001 情報システム運用基本規程」をいう。
	本学支給以外の情報システムによる情報処理	本学支給以外の情報システムを用いて大学事務の遂行のための情報処理を行うことをいう。なお、直接装置等を用いる場合だけではなく、それら装置等によって提供されているサービスを利用する場合も含むものとする。ここでいうサービスとは、個人が契約している電子メールサービス等のことであり、例えば、本学の業務に要する電子メールを、個人で契約している電子メールサービスに転送して業務を行ったり、個人のメールから業務のメールを発信したりすることである。
	本学支給以外の情報システム	本学が支給する情報システム以外の情報システムをいう。いわゆる私物のPCのほか、本学への出向者に対して出向元組織が提供する情報システムも含むものとする。
む	無線 LAN	無線通信で情報を送受信する通信回線をいう。無線 LAN の規格としては、802.11a、802.11b、802.11g、802.11n、Bluetooth 等が挙げられる。
め	明示等	情報を取り扱うすべての者が当該情報の格付けについて共通の認識となるように措置することをいう。なお、情報ごとに格付けを記載することにより明示することを原則とするが、その他にも、当該情報の格付けに係る認識が共通となる措置については、明示等を含むものとする。例えば、特定の情報システムについて、当該情報システムに記録される情報の格付けを規定等に明記し、当該情報システムを利用するすべての者に当該規定を周知することができていれば明示等を含むものとする。
	メールボックス	あるメールアドレスあてに届いた電子メールを保管しておく電子メールサーバ上の領域をいう。メールボックスは、メールアドレスごとに存在し、メールアドレスあてに届いた電子メールは、当該メールアドレス専用のメールボックスに保管される。

	用語	説明
も	モバイル PC	端末の形態に関係なく、業務で利用する目的により必要に応じて移動する端末をいう。特定の設置場所だけで利用するノート型 PC は、モバイル PC に含まれない。
ゆ	URI (Universal Resource Identifier)	http://www.example.com/のようなウェブサイトアクセスするためのキーとなる情報。URL (Universal Resource Locator) と呼ぶことも普通におこなわれている。
よ	要安定情報	可用性2情報をいう。
	要機密情報	機密性2情報及び機密性3情報をいう。
	要保護情報	要機密情報、要保全情報及び要安定情報をいう。
	要保全情報	完全性2情報をいう。
り	利用規定違反行為	<p>インシデントに係わるかどうかに限らず、利用規定に違反する行為を言い、下記を含む。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 情報システム及び情報について定められた目的以外の利用 2 電子掲示板、ブログやウェブページ等での名誉・信用毀損にあたる情報の発信 3 差別、侮辱、ハラスメントにあたる情報の発信 4 他人の個人情報や肖像の無断公開や漏えいその他プライバシーを侵害する情報の発信 5 守秘義務に違反する情報の発信 6 他人の著作物の違法コピーのアップロード等、他人の著作権等の知的財産権を侵害する情報の発信 7 通信の秘密を侵害する行為 8 営業ないし商業を目的とした本学情報システムの利用 9 部局総括責任者の許可(業務上の正当事由)なくネットワーク上の通信を監視し、又は情報機器の利用情報を取得する行為 10 不正アクセス禁止法に定められたアクセス制御を免れる行為及びそれを助長する行為 11 部局総括責任者の要請に基づかずに管理権限のないシステムのセキュリティ上の脆弱性を検知する行為 12 サービス不能攻撃等、故意に過度な負荷を情報システムに与えることにより本学の円滑な情報システムの運用を妨げる行為 13 その他法令に基づく処罰の対象となり、又は損害賠償等の民事責任を発生させる情報の発信 14 上記の行為を助長する行為 15 管理者の許可をえず、ソフトウェアのインストールやコンピュータの設定の変更を行う行為
	利用者	教職員等及び学生等で、本学情報システムを利用する許可を受けて利用するものをいう。
	利用者等	利用者及び臨時利用者のほか、本学情報システムを取扱う者をいう。
	臨時利用者	教職員等及び学生等以外の者で、本学情報システムを臨時に利用する許可を受けて利用するものをいう。
	れ	例外措置
ろ	ログイン	何らかの主体が主体認証を要求する行為をいう。ログインの後に主体認証が行われるため、ログインの段階ではその主体が正当であるとは限らない。
	ログオン	ログインの結果により、主体認証を要求した主体が正当であることが情報システムに確認された状態をいう。